

庄監公告第1号

地方自治法第199条第9項及び庄内町監査委員条例第9条の規定により、令和7年度定期監査結果の報告について、別紙のとおり公表する。

令和8年1月28日

庄内町監査委員 安藤一雄
庄内町監査委員 石川武利

監発第42号
令和8年1月21日

庄内町長 富 横 透 殿
庄内町議会議長 石 川 保 殿
庄内町教育委員会教育長 佐 藤 真 哉 殿
庄内町農業委員会会長 若 松 忠 則 殿
庄内町選挙管理委員会委員長 吉 泉 豊 一 殿
公営企業管理者の権限執行者 庄内町長 富 横 透 殿

庄内町監査委員 安 藤 一 雄
庄内町監査委員 石 川 武 利

令和7年度定期監査結果報告書の提出について

地方自治法第199条第4項の規定による定期監査を実施したので、同条第9項の規定により報告書を提出します。

なお、この監査結果に基づき措置を講じたときは、同条第14項の規定により通知願います。

令 和 7 年 度

定期監査結果報告書

庄内町監査委員

1 監査執行期日及び監査対象課等

監査執行期日	監 査 対 象 課 等	
9月26日（金）	教 育 課	立川中学校、余目中学校
9月29日（月）	教 育 課	教育総務係、教育施設係、学校教育係、学校再編整備室、学校給食共同調理場
	教 育 課	余目第四小学校
9月30日（火）	教 育 課	余目第一小学校、余目第三小学校
10月1日（水）	教 育 課	立川小学校、余目第一幼稚園
10月6日（月）	教 育 課	余目第二小学校、余目第二幼稚園
10月8日（水）	教 育 課	余目第三幼稚園、余目第四幼稚園
10月9日（木）	子育て応援課	子育て支援係、子育て支援センター、児童発達支援係、こども家庭支援係
10月10日（金）	社会教育課	社会教育係、図書館、内藤秀因水彩画記念館
	農 林 課	農政企画係、農産係、農林水産係
	農 業 委 員 会	農地農政係
10月14日（火）	税務町民課	住民税係、資産税係、納税係、町民係、国保係
	企画情報課	情報発信係、企画調整係、デジタル推進係、システム整備係、まちづくり移住係、コミュニティ推進係
11月12日（水）	環境防災課	危機管理係、環境衛生係、温暖化対策係
	総 務 課	総務係、文書法制係、財政係、管財係
	選挙管理委員会	
11月13日（木）	保健福祉課	福祉係、健康推進係、介護保険係、高齢者支援係
	建設 課	管理係、建設係、都市計画係、空家対策係
11月19日（水）	企 業 課	業務係、工務管理係、下水道係、施設係
11月20日（木）	立川総合支所	総合支所係、立川地域振興係
	商 工 觀 光 課	商工労働係、観光物産係、新産業創造係
11月21日（金）	議会事務局	

2 実施した監査の手続き

監査の対象となった財務に関する事務の執行及び事業に関する事務が、法令等に沿つて適正かつ効率的に行われているかについて、事前に提出された監査資料及び提示を求める関係書類に基づいて、質問、証憑突合及びその他の通常実施すべき監査手続きにより実施した。

3 監査結果の総括について

(1) 財務に関する事務の執行状況について

各課の財務事務は概ね適正に執行されているものと認められた。

令和6年度決算では、一般会計と特別会計を合わせて実質収支、実質単年度収支とも黒字となつたが、今後、大規模事業等の起債の償還や小中学校の再編整備が本格化することに加え、人件費や物価高騰の影響も懸念される。

歳入では、町税の収納率が向上しているが、今後も「町税等滞納削減!!第4次アクションプラン」により、自主財源の確保や税負担の公平性の観点からも滞納者を発生させない取り組みを継続するとともに、「限られた予算の中で最大の効果」が発揮できるよう予算執行に心がけ、効率的で持続可能なまちづくりに努められたい。

(2) 契約に関する事務手続きについて

契約種別のうち、随意契約については、庄内町随意契約ガイドラインにより契約締結をしており、概ね適正であると認める。

なお、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の2第1項第1号の規定による少額随意契約については、庄内町事務決裁規程（令和4年4月1日改正）別表第2第2号の規定により主管課長専決となることから、契約種別の理由を明確にしたうえで、起案から決裁時までのチェックを引き続き強化されたい。

(3) 昨年度の定期監査の措置状況に係るその後の対応状況について

毎年度、定期監査の結果に係る措置について、町長より監査委員宛通知があるが、今年度の定期監査より、その後の対応状況について再確認をした。概ね改善されているが、改善に向けて取り組んでいるものについては、引き続き対応されたい。

以上が令和7年度の定期監査を実施した結果についての総括所見である。なお、各課等の監査結果については、監査実施後に口頭にて講評を行っているが、その中で今後改善並びに検討を要する事項を以下に記したので、それぞれ対応されたい。

4 各課等に対する個別事項

(1) 総務課（総務係、文書法制係、財政係、管財係）

① 職員数については、正規職員が減、会計年度職員が増という傾向が続いている。庄内町職員定数条例に定める職員定数 240 人に比べ 33 人減となり、人件費の削減に繋がる効果はあると思われる。

しかしながら、中途退職や新規採用職員の確保が難しい状況にあり、正規職員と会計年度職員のバランスや働きやすい環境を踏まえ、定数の考え方を検討されたい。

② 財政運営については、令和7年度は償還額より借入額が上回り、町債残高がこれまで減少してきたものが再び増加に転じる事態が見込まれる。また、大規模3事業（武道館整備事業・余目中学校長寿命化改良事業・小学校改築事業）や災害復旧への優先的対応など事業費がかさむ計画が続いている。基金の積み立てや活用、有利な起債の導入など将来を見据えた計画的な財政運営に努め、当町財政の健全な運営に一層の努力をされたい。

(2) 企画情報課（情報発信係、企画調整係、デジタル推進係、システム整備係、まちづくり移住係、コミュニティ推進係）

① システム整備係については、すべての行政業務がパソコンを使ったシステム管理業務になったため、係の業務が重要になっている。

特に、近年みられる悪質なサーバー攻撃は、一瞬にしてシステムダウン、全ての業務の停止という事態になりかねないため、セキュリティ対策を万全にして、想定される事態への対処方法を検討・準備されたい。

② マルチタスク車両については、高齢者に配慮したもので好評ということだが、今後とも行政サービスのあらゆる手段として、車両の利活用を周知されたい。

(3) 環境防災課（危機管理係、環境衛生係、温暖化対策係）

① 自主防災組織連絡協議会事業の実施状況については、全体研修会は実施しているものの、各自主防災会での実施率が低い状況となっている。人口減少などにより、自主防災組織の強化は難しいと思われるが、万が一の災害発生時に備えて、地域づくり組織の自主防災部会などとタイアップして年1回は研修を実施する方向で進められたい。

② 鳥獣被害防止対策事業については、例年なく熊の出没が激増し、今後も出没及び被害が生じてくる可能性があると予想される。町民への注意喚起の強化と獣友会組織との連携強化を図り、被害防止対策に努力されたい。また、職員が現地確認をする際は、自身の熊よけ対策を十分にとり、注意をよく払って業務対応をされたい。

(4) 税務町民課（住民税係、資産税係、納税係、町民係、国保係）

町民係については、行政事務のデジタルトランスフォーメーション（DX）化が多く進められている係で、その基本には、諸手続きの簡素化と正確性による町民の利便性の向上と業務の効率化があると思われる。

マイナンバーカードは、今後ますます汎用性が高まり、それを含めてこれまでの業務が多面的に及ぶようになってきており、これらDX化の流れにのり創意と工夫を凝らしながら、さらなる業務の効率化と正確性を目指されたい。

(5) 保健福祉課（福祉係、健康推進係、介護保険係、高齢者支援係）

保健福祉課の4係の業務については、少子高齢化が進む当町において、高齢者の誰もが恩恵を受けることのできる重要な事業部門で、事業の数も多く多岐にわたっている。これら数あるサービスや事業を、まず町民から理解してもらうことが重要なため、各種事業の周知になお一層努められたい。

(6) 子育て応援課（子育て支援係、子育て支援センター、児童発達支援係、こども家庭支援係）

- ① 放課後児童健全育成事業については、小中学校の統合に目途がついたところで、今度は学童保育事業について、本格的にその構想を策定する段階に入っている。
この度、学童保育所のあり方を考える意見交換会が企画されているが、できるだけ多くの町民から参加してもらえるような意見交換会にしていただき、今後の基本方針策定に活かされたい。
- ② 児童発達支援係については、庄内町の特別支援学級の児童生徒数が増加傾向となっており、日々先生方からはご苦労いただいているが、保育園、幼稚園でも相当数がいると思われ、早期に対応策をとることがより重要になってくる。
そのためには保護者からの理解と協力を得ることが最優先になるので、丁寧な対応に努められたい。

(7) 建設課（管理係、建設係、都市計画係、空家対策係）

- ① 河川堤防除草については、特に京田川堤防除草では、周辺集落の協力による除草作業等の実施が、高齢化や従事者の減少により作業が困難な状況が続いており、県に対して、全面刈取を基本にして刈取面積の拡大や浚渫箇所、支障木伐採等について要望しているとのことだが、早期実現に向け、要望を更に強化されたい。
- ② 木造住宅耐震診断事業及び木造住宅耐震改修事業については、近年の巨大地震発生による生活圏の壊滅的被害をさまざまと見せつけられる現状にあり、耐震診断や耐震改修は人命を守る重要な対策になる。
耐震診断・改修を行う方が少ない状況となっているが、町民への呼びかけを強化し、人命を守ることを最優先にできるだけ取り組みやすい方法を提示して、事業を実施できるようにされたい。

(8) 農林課（農政企画係、農産係、農林水産係）

- ① 米生産については、コメ不足によるコメ小売り価格の高騰で、令和7年産米は仮渡し価格が何十年ぶりの高値をつけるなど、コメ作り農家はかつてないほどの収穫の喜びを感じていると思われる。このことが、令和8年産以降のコメ需給にどのような影響を及ぼすかわからない状況となっているが、ますます米生産に励み、良質米産地としての確立が今以上に必要になってくる。
町単独事業をはじめ、数多くあるコメ農家支援対策をますます拡充し、充実したものにして、庄内町の米主産地形成に努められたい。

② 花き栽培農家については、減少傾向にある。新種の花き栽培にも力を入れて、最盛期の花き栽培に近づくよう花き栽培農家及び生産の増加に努められたい。

(9) 農業委員会（農地農政係）

総体的に概ね良好と認められた。

(10) 商工観光課（商工労働係、観光物産係、新産業創造係）

① 商工労働係については、商工業振興対策事業、商工金融対策事業等に数多くの補助事業メニューをそろえているが、補助申請や交付件数がゼロや少ない事業が見受けられる。多くの商工業者が事業導入できるよう、事業内容の周知に努め、商工業の振興に努められたい。

② 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業については、直接生活者を支援する目に見える事業なので、事業メニューに創意と工夫を凝らし町民の支援に当たられたい。

(11) 企業課（業務係、工務管理係、下水道係、施設係）

① 水道事業については、庄内広域水道企業団が設立され、来年度から統合が現実となった。庄内広域水道企業団への移行後に、業務に支障が生ずることのないよう万全の準備をして、広域化のメリットが町民にも実感できるような新事業を構築されたい。

② 水道・ガス・下水道事業については、それぞれ町民生活の根幹を担う重要な事業となっている。今後、人口減少が直接影響し、利用量・利用料金の減少はますます大きくなることが見込まれ、設備の更新などの必要経費も多額になり、企業課事業経営に与える影響は多大なものになることが想定される。

このような悪環境条件のもと、最低限収益的収支の黒字化を目指すよう努力されたい。

(12) 議会事務局

総体的に概ね良好と認められた。

(13) 選挙管理委員会

総体的に概ね良好と認められた。

(14) 教育課（各幼稚園、各小学校、各中学校、教育総務係、教育施設係、学校教育係、学校再編整備室、学校給食共同調理場）

① 休日の部活動の地域移行については、教職員の働き方改革に伴い、部活はクラブチームに移行しているが、子供たちは、部活が学校から離れた外部のクラブチームに入るという意識が強くなり、参加者が不足になってきていると聞いている。

義務教育で運動クラブに所属する意義をもっと丁寧に子供たちに説き、クラブへの参加を促されたい。

また、中体連競技への参加も大きく様変わりしていることから、クラブチームとの共存をどう図るのか検討されたい。

- ② 各幼稚園、小学校、中学校における消防用設備等点検結果報告書で指摘された不良箇所の修繕については、安全第一を確保するため、速やかに対応されたい。

(15) 社会教育課（社会教育係、図書館、内藤秀因水彩画記念館）

- ① 青少年育成推進事業については、各学区・地区にあった青少年育成町民会議は、まちづくりセンター内に包含されている。新体制では、各まちづくりセンターの組織運営の一環としての青少年育成推進事業となるので、庄内町青少年育成町民会議の在り方も変わらざるを得ないと思われる。同時に、各まちづくりセンター組織事業に青少年育成推進事業が途切れることなく実施できるよう府内各課横断的体制で指導されたい。
- ② 図書館運営事業の小学校・乳幼児施設・学童への定期団体貸出と随時の配達サービスについては、評価できるサービス事業である。大変な業務ではあるが、引き続き継続事業とされたい。

(16) 立川総合支所（総合支所係、立川地域振興係）

- ① 北月山荘については、宿泊客が前年比で伸びているが、食堂(モン・ヴィペール)運営がカギを握っている。現在の契約期間が来年1月で切れる事から、今後継続して運営できるような仕組みづくりを構築されたい。
- ② 風車村管理運営事業については、わんぱくの森にツリーハウスが完成し、今後子どもたちを中心に誘客が期待される。
熊の出没対策を強化しながら、わんぱくの森事業を新たな森の遊び場として、色々な仕掛けを企画し、町の新たなにぎわい創出に努力されたい。